教科名

社会科

【年間計画】年間を通して、次に示すような単元を学習していきます。

月	第１学年	月	第２学年	月	第３学年
4	世界と日本の地域構成【地理】	4	近世の日本【歴史】	4	二度の世界大戦と日本【歴史】
5	世界のさまざまな地域【地理】	5	近世の日本【歴史】	5	二度の世界大戦と日本【歴史】
	人々の生活と環境	6	近世の日本【歴史】	6	現代の日本と私たち【歴史】
6	歴史へのとびら【歴史】		日本のさまざまな地域【地理】	7	現代社会と私たち【公民】
7	古代までの日本【歴史】		地域調査の手法	9	個人の尊重と日本国憲法【公民】
9	古代までの日本【歴史】	7	日本の地域的特色	10	現代の民主政治と社会【公民】
10	古代までの日本【歴史】	9	日本の地域的特色	11	現代の民主政治と社会【公民】
11	世界のさまざまな地域【地理】	10	日本の諸地域【地理】		私たちの暮らしと経済【公民】
	アジア州		九州地方、中国・四国地方、	12	私たちの暮らしと経済【公民】
	ヨーロッパ州、アフリカ州、	11	日本の諸地域【地理】	1	地球社会と私たち【公民】
12	北アメリカ州、南アメリカ州、		近畿地方、中部地方、北海	2	より良い社会を目指して【公民】
1	オセアニア州		道地方		
	中世の日本【歴史】	12	日本の諸地域【地理】		
2	中世の日本【歴史】		関東地方、東北地方、		
3	中世の日本【歴史】	1	日本の諸地域【地理】		
			北海道地方		
			持続可能な地域の在り方【地理】		
			開国と近代日本の歩み【歴史】		
		2	開国と近代日本の歩み【歴史】		
		3	開国と近代日本の歩み【歴史】		

＊表中の数字は、月を表しています。行事・時間割の切替え等で多少前後致します。また教員配置の関係で並行して授業をすすめる場合があります。

【教科における観点別評価項目】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

定期テストが評価・評定のすべてではありません。日々の授業においての意欲や態度を、観察法を用いて評価します。また、ノートやワーク、パフォーマンス課題等の提出物についても評価の対象です。授業目標の達成・定着が「十分満足できる状況である」ことが、評価Ａにつながり、その積み重ねが、その観点の評価Ａとなり、最終的に３つの観点別評価によって評定が出されます。

それぞれの分野において、各学年では次に示すような力をつけることを目標としています。これは、授業目標であり、生徒たちにとっての達成目標になります。

１年　地理的分野

・世界の姿をとらえることができる。　・日本の姿をとらえることができる。・世界各地の人々の生活と環境をとらえることができる。　・なぜアジア州では急速に経済が成長してきたのかを説明することができる。　・なぜヨーロッパ州では統合をめぐるさまざまな動きが見られるのかを説明することができる。　・なぜアフリカ州では国際的な支援が必要とされているのかを説明することができる。　・なぜ北アメリカ州ではアメリカ合衆国への移民が多く見られるのかを説明することができる。　・なぜ南アメリカ州では森林が減少しているのかを説明することができる。　・なぜオセアニア州ではアジアとの結びつきが強くなってきたのかを説明することができる・

歴史的分野

・歴史のとらえ方が理解できる。　・身近な地域の歴史を理解できる。　・文明のおこりと日本の成り立ちが理解できる。・古代国家の歩みと東アジア世界が理解できる。・武士の台頭と鎌倉幕府が理解できる。・東アジア世界とのかかわりと社会の変動が理解できる。

２年　地理的分野

・世界から見た日本の自然環境がわかる。・世界から見た日本の人口がわかる。・世界から見た日本の資源・エネルギーと産業がわかる。・世界と日本の結びつきがわかる。・九州地方の環境問題・環境保全に向き合う人々のくらしがわかる。中国・四国地方の都市と農村の変化と人々のくらしがわかる。・近畿地方の歴史の中で形づくられてきた人々のくらしがわかる。・中部地方の活発な産業を支える人々のくらしがわかる。・関東地方のさまざまな地域と結びつく人々のくらしがわかる。・東北地方の伝統的な生活や文化を守り育てる人々のくらしがわかる。・北海道地方の雄大な自然とともに生きる人々のくらしがわかる。・身近な地域の調査ができる。

歴史的分野

・ヨーロッパ人の来航による社会の変化がわかる。・身近な地域の歴史を理解できる。・江戸幕府の成立と鎖国が理解できる。・産業の発達と幕府政治の動きが理解できる。・欧米の進出と日本の開国が理解できる。・明治維新が理解できる。・日清・日露戦争と近代産業が理解できる。

３年　歴史的分野

・第一次世界大戦と日本が理解できる。・世界恐慌と日本の中国侵略が理解できる。
・第二次世界大戦と日本が理解できる。・戦後日本の発展と国際社会が理解できる。・新たな時代の日本と社会が理解できる。
・身近な地域の歴史を理解できる。

公民的分野

・現代社会とわたしたちの生活が理解できる。・わたしたちの生活と文化が理解できる。・現代社会の見方や考え方が理解できる。・人権と日本国憲法が理解できる。・人権と共生社会が理解できる。・これからの人権保障が理解できる。・現代の民主政治が理解できる。・国の政治のしくみが理解できる。・地方の政治と自治が理解できる。・くらしと経済が理解できる。・生産と労働が理解できる。・価格の働きと金融が理解できる。・国民生活と福祉が理解できる。・国際社会と世界平和が理解できる。・国際問題とわたしたちが理解できる。・よりよい社会をつくるために、自分には何ができるのかを考えることができる。

１時間ごとの積み重ねが、生徒一人ひとりの成長に繋がります。